

令和 4 年度 後期 学校教育評価集計 改善に向けて

1 学校経営

内容	分析・重点取組事項
(11)生徒は、目標を立てて努力している。	<p>・学校行事を中止せず感染予防対策を考慮して実施しました。肯定率が安定しているのは、生徒が限られた条件の中で最大限に工夫して前向きに取り組めたからと思います。しかし、前期に引き続き個人や全体の具体的な目標が見えず、自己評価に繋がっていないため、目立った変化がありませんでした。委員会や部活動等で個人はもちろん周りにも目標を発表する機会を設け、成果が目に見える取組を取り入れていきます。繰り返し反省を次の目標に生かす過程を大切にしていきます。</p>
(13)生徒の学校生活は、楽しく充実している。	
(16)生徒は、学校の行事に満足している。	

2 教育課程・学習指導について

TB…個人のタブレット

内容	分析・重点取組事項
(5)学校は、分かりやすい授業を行っている。	<p>・電子黒板や TB を用いた授業がどの教科においても浸透し、生徒の興味関心が持続していることが、(5)の肯定率で分かります。しかし、あまり TB を用いた家庭学習を実施することはできませんでした。家庭学習の習慣は、生徒だけでなく、保護者や教員もできていないと感じています。今後、本校生徒の課題である理数系教科の基礎力定着のため、TB を用いた学習など具体的な方法を提示し、家庭との連携を大切にして、学習習慣の定着を図っていきます。</p>
(9)生徒は、基本的な学習内容が定着している。	
(10)生徒は、家庭学習を 1 日平均 2 時間以上している。(塾も含む)	

3 生徒指導について

内容	分析・重点取組事項
(2)学校は、いじめに対して真剣に取り組んでいる。	<p>・前期に引き続き(2)(3)の回答率が低いのは、保護者全体に学校の取組が見えないからだと考えられます。いじめや不登校の事例が発生した場合、学年部単位で学年主任や学級担任、養護教諭やスクールカウンセラーとチームで定期的に話し合いをもつ取組は今後も継続していきます。また、保護者や生徒の相談事案が、学校スクールカウンセラーのカウンセリングにより、好転していくケースが増えています。</p> <p>・生徒会が発起し、今年度は朝の挨拶当番を委員会が輪番制で行っています。大勢が同時に声を出す場面では元気な声が響いています。しかし、地域の方や民生委員の方から、校外生活において目をそらす生徒が目立ちだしたことの報告がありました。新型コロナウイルス感染予防のためマスクを付け表情を見せない習慣が付いている生徒が増えていく点が心配です。コミュニケーションの大切さや挨拶の効果について学級や部活動で改めて伝えていく指導を今後も継続していきます。また、学校生活で自分の意見を伝える場面を増やしていきます。</p>
(3)学校は、不登校に対して真剣に取り組んでいる。	
(4)学校は、生徒が相談したことに対して適切に対応している。	
(6)生徒は、挨拶がよくできる。	
(7)生徒は、交通ルールを守っている。(自転車の乗り方等)	
(8)生徒は、思いやりの気持ちを持ち社会のマナーを守っている。	
(18)学校は、心や体の健康に気をつけ、処理や連絡をしている。	

4 健康・安全管理について

内容	分析・重点取組事項
(12)生徒は、家で規則正しい生活をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・前期に引き続き、保護者や学校側の(14)の肯定率が低く改善が見られません。スマートフォンを所持している生徒が増加したことから、使用する上でのルールをご家庭でも作る事が大切です。学校においては継続して学級活動やホームルーム等でことある度に話題に取りあげ、現在多発するスマートフォンに関するトラブルをリアルタイムに掲示して啓発します。 ・「感染警戒期 特別警戒期間」が令和4年から継続しています。新型コロナウイルス感染予防対策については、マスクや手洗い等、生徒それぞれの意識も高いです。ただ、インフルエンザ等の流行も否定できません。引き続き感染防止策を徹底していきます。更に、事故防止の観点でも安全点検を徹底します。
(14)生徒は、SNSの機器（スマホ等）を内子町のルールを守って利用している。	
(17)学校は、生徒の安全を考えて、環境を整備している。	

5 保護者・地域との連携について

内容	分析・重点取組事項
(1)学校は、通信、HP等で学校の様子を分かりやすく伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信や伝達を大切に考え、毎月の学校便り、学級通信の定期発行、HPの適宜更新、マチコミによる情報発信等を行いました。年度を通して肯定率が高い事から、紙媒体に合わせ、WEBを利用することで情報が行き渡りやすくなっていると考えられます。しかし、今年度は学校評価をWEB上で、それぞれのご家庭の端末を使ってできるように工夫しましたが、前半34%後半29%の回収にとどまりました。紙媒体による回答方法も用意することで、85%の回収ができましたが、回収率が若干減っています。徐々に保護者の方にデジタルの良さを理解していただき、操作になれていただく手立ても考えていきます。
(15)生徒は、家の人と会話をしている。	
(19)保護者は、学校や地域と連携を図っている。	